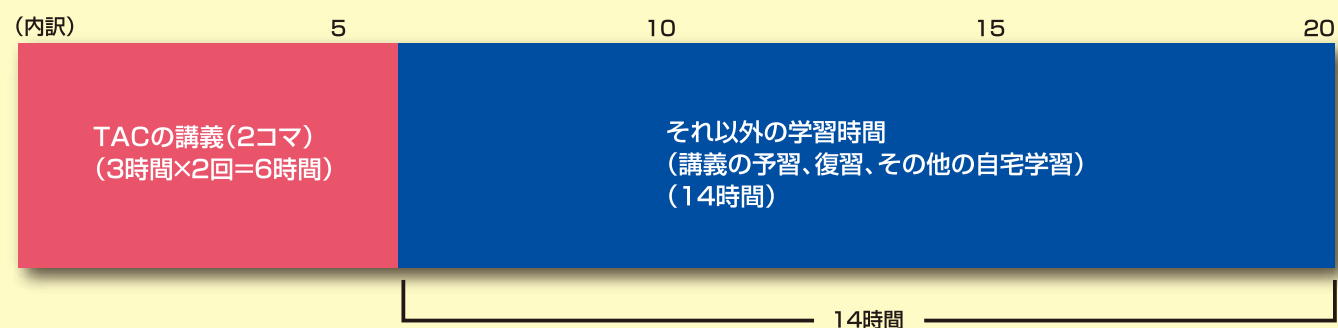


TACでは、学習時間の「最適」な活用法を提案します！

弁理士試験の学習は『長期戦』です。長期間にわたってご自身の学習時間をどのように管理し、有効に活用していくのが弁理士試験合格のための最も重要な要素となります。TACでは、受講いただいた方の講義時間はもちろんですが、『講義外』の時間の有効な活用法にまで踏み込んだカリキュラムを提供することで、皆様の弁理士試験合格をぐっと近づける学習方法を提案いたします。

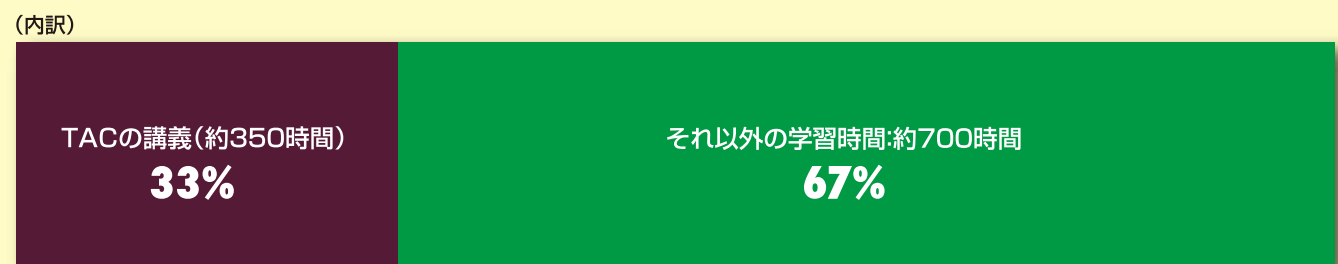
1週間の学習時間例(TAC受講生の平均値)：20時間※

※20時間はTAC受講生へのアンケートから算出した平均値となります。



1年間に換算すると

1年間の学習時間例(1年間を52週間として換算)：約1050時間



年間学習時間の約7割(700時間)が『講義外』の時間
つまり
『講義外』の学習時間の「質・内容・密度」が合否の決め手に！

TACの解決策

学習時間の多くを占める『講義外』の学習時間の最適な管理・活用法についてTACでは以下のコンテンツをご用意しています。

さらに、新宿校で実施される教室講座をご受講の方にはさらなる効率化を可能としたクラスも設定しております。

(次ページをご確認ください)

①講義の予習内容・所用時間を明確化

講義の予習範囲を明確にし、『予習』として実施すべき事項の範囲・時間を明確化します。講義に望む前にやっておくべき事項が明確なので、貴重な『講義外』の時間を無駄にすることなく、『予習』を行うことができます。



<講義予習シート(基本講義)>

②講義の復習内容・所用時間の明確化

実際の講義を受講した後、その講義で重要となる部分や再度確認しておくべき事項を『復習』の範囲として明確に定義しています。講義のポイントとなる事項を問題形式で問う形になっているため、手軽に理解度を測ることができます。また、理解していない部分が明確になるので、次の学習指針を明確に立てることができます。



<復習テスト(基本講義)>

③実際の進捗状況を確認

予習⇒講義⇒復習のサイクルを経た後、どの程度の実力がついているのかを測るための進捗状況の確認を随時実施します。本試験を突破するための実力が着実についていることを確認すると共に、理解が足りない点を再度学習するためのきっかけ作りにもなります。



<実力テスト>

▶さらなる学習時間の活用法を提案「新宿校クラス」の詳細は次ページへ

さらに

ここまでやるのがTACです！

TACでは学習環境をより良いものとするため、そのほかにもさまざまなコンテンツをご用意しています。

①個別カウンセリング

TACでは、受講期間中に受講生一人ひとりに合った『学習プランの作成』、『学習上の悩みの解決』を目的とした講師との個別カウンセリングを実施しています。もちろん通信講座の受講生もカウンセリングを受けていただくことが可能です。

②自習室標準装備

TACでは講義の行われていない各校舎の教室を自習室として開放しています。『ご自宅では集中できない』『仕事・学校帰りに勉強をしたい』そんな受講生を環境面からもサポートします。

TACの「最適な」学習時間の活用法をさらに推し進めた形で提供するための クラスを、TAC新宿校(湯浅クラス)で開講します。

新宿校湯浅クラスはここが違う!

ここが違う!!

- ①講義は事前にWebで視聴=予習時間の密度を最大限高めます!
- ②教室講義は「グループワーク」による実践と「演習」で知識を深化!
- ③徹底した情報公開と進捗管理!



新宿校湯浅クラス受講生のタイムスケジュール例：20時間※

※20時間はTAC受講生へのアンケートから算出した平均値となります。

(内訳)

予習	講義内演習・講義	復習
講義視聴(Web) 2.5時間×2回=5時間	TACの講義 3時間×2回=6時間 (知識の定着)	復習テスト・過去問演習他 9時間

- 1週間の学習時間のうち18時間(90%)の時間のすべきことが明確に!
- もちろん残りの学習時間ですべきことも講義中に提示します!
- 事前の講義視聴(Web)で疑問点は教室内ですべて解決!

湯浅 竜 講師

みなさん、始めまして!弁理士の湯浅と申します。
受講者数最大規模を誇るTAC新宿校で、毎年、弁理士試験対策の受験指導に従事させて頂いています。
私のクラスの最大の特徴は、「試験に合格」が最優先という点です。
それを「本気」で「実現」するために、一にも二にも、「演習」「暗記」を徹底しています。
やらなければ、身につきません!身につく勉強が「楽しい」し、「続きます」。
これが、私が講師経験から得た教訓です。
特に、面倒で後回しにしがちな「暗記」は、「授業中に覚える工夫」(家に帰ってからはやらないので)をしています。
これが新宿校人気のポイントです。
秋開講の私のクラスでは、「試験に合格」をさらに突き詰めた形で実践するため、Webで事前に講義を視聴してもらう『Web先行型』の予習スタイルを実施します。
事前に講義を視聴してくることで、実際の講義では、「知識の定着」を目的とした『グループワーク』など実践的な演習中心の講義をすることができます。
是非、私のクラスに参加していただき、仕事、プライベート、そして勉強、充実した試験ライフを送りましょう!

▼湯浅講師の講義を体験

<http://www.tac-school.co.jp/tacchannel/>

【弁理士湯浅の息抜きコラム】 http://www.tac-school.co.jp/kouza_benrishi/benrishi_column.html

【弁理士湯浅の弁理士試験合格ブログ】 <http://ameblo.jp/r-yuasa/>

PROFILE

2009年に弁理士試験合格。受講者数最大規模の、TAC新宿校を担当。短答対策、論文対策、湯浅式弁理士必勝ゼミなど、入門者から中上級者まで幅広い受講者層から支持される。特に、「他社特許の壁をどのように突破するのか?」「強い特許はどう作るのか?」に詳しい。TechnoProducer(株)にて、エンジニアへの発明・知財教育に従事。東京理科大学工学部非常勤講師。岸尾特許商標総合事務所副所長(兼務)。日本弁理士会研修対応委員会委員。知財戦略に関する勉強会、商標実務に関する勉強会も主催。

湯浅クラス受講生の声

一貫して条文読み込みの重要性を強く説いていた点だが、湯浅先生の講義の良かった点です。基本講義においても条文を読む機会が多かったです。グループワークに関しては、ライバルとなる方々相手に暗記したものを披露するということで、緊張感を持って暗記に取り組むことができました。結果、初受験の本試験では43点となりました。

湯浅先生の講義は「条文の読み込みを中心にするスタイル」です。条文の読み込みは、過去問を解くのに比べて結果が出にくく、後回しにしがちな勉強だと思いましたが、講義中に実践して頂いたので自己学習の際にとっても役立ちました。

湯浅先生の講義で実施する、グループワークは、暗記のペース管理と正しくアウトプットできるかを確認する良い機会です。また、他の受験者のアウトプット量・質を知ることによって自分の勉強量を見直す機会にもなり、効果的な講義スタイルだと思います。

新宿校湯浅クラスはここが違う



特徴1

講義は事前にWebで視聴=予習時間の密度を最大限高めます!

新宿校湯浅クラスでは、講義の予習時間の密度を最大限に高めるため、予習範囲について実際の講義を収録したWeb動画を事前に視聴していただきます。

これにより、

- ①講義の予習内容が明確になる
- ②講義の予習の密度が高まる
- ③講義範囲の疑問点を講義前に明確にできる

ことができます。

また、予習に必要な時間が明確になるため、講義外学習時間の管理が容易になります。

※講義の事前Web視聴の詳細は、初回講義(入門講義第1回)の際にお話します。

※事前視聴用の講義は、9/1(木)配信開始となります。



特徴2

教室講義は「グループワーク」による実践と「演習」で知識を深化!

事前に講義をWebで視聴しているため、実際の教室講義では、いわゆる『講義』ではなく、

- ①重要箇所の再確認
- ②重要条文の読み込み
- ③「グループワーク」による知識の深化
- ④応用知識の習得
- ⑤演習による習得度の確認

といった実践的な内容を中心に実施します。

教室で実施される講義が講義範囲の「2回目」の講義となることで、「1回目」の講義よりも『広く』『深く』『実践的』な知識を習得することができます。



特徴3

徹底した情報公開と進捗管理!

新宿校湯浅クラスでは、受講生からの質問や講義のシラバスなどの情報を専用ツール(登録要)でWeb上に公開しています。

勉強仲間が持っている疑問点などを共有することで疑問の解決をスムーズにしたり、新たな着眼点を得ることができます。

また、受講生の各種演習の点数・成績分布などの進捗状況を管理・公開しています。

今までに学習してきたことが「どれだけ」自分の実力として身についているかを明確に把握し、モチベーションを高めることができます。



●新宿校特別クラス(湯浅講師)受講の際の注意事項

①講義予習用のWeb講義視聴に関する注意事項

- ・Web講義の視聴に当たっては、「TAC WEB SCHOOL」のマイページ登録が必要となります。
- ・予習用のWeb講義は「TAC WEB SCHOOL」でのみ提供されます。
- ・お申込前に必ず、TACホームページ内の「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境及び「無料体験版」にて動作をご確認ください。

URL <http://portal.tac-school.co.jp/>

- ・教室で実施される講義は毎回の予習範囲の講義を視聴していることが前提の講義となります。予めご了承ください。

②スクーリング制度ご利用の際の注意事項

- ・通信講座の受講生の方は新宿校特別クラス(湯浅講師)の講義に参加することができます(回数制限無・予約不要)。
- ・スクーリング制度を利用して受講をされる際は、日程表をご確認のうえ、事前に実施回数の講義を視聴してご参加ください。

③予習を事前にWeb講義で視聴する形での講義は、各コース中、「基本講義(全24回)」で実施します。それ以外の講義・答練では通常の形での実施となります。予めご了承ください。

④事前に視聴するWeb講座の担当講師は小松純講師となります。

⑤講義の事前視聴方法、情報公開用のツールの詳細は、初回講義時にお知らせします。